

# 持続可能な地域づくり人づくりのためにESDの取り組み ———— ビオトープフォーラムin大槌 2017

大槌町地区は、大槌川・小鎗川に挟まれ豊富な湧水、森・川・海のエコトーンが形成され、砂浜・松林・湿地・田んぼなどによって豊かな生態系が広がっていました。昭和30年代、経済優先の高度成長時代以降、特異な環境・自然豊かなこの地域は人為的にその貴重ともいえるエコトーンを改変して小鎗川河口を変更・防潮堤や埋め立てによって生活の場を広げ繁華な街が形成されました。同時に鮭孵化場もこの地に建設され使用する大量な地下水によって街の湧水量は激減しました。

311大津波は防潮堤を超えて街の基盤を破壊し、図らずもこの攪乱はかつての湿原や田

んぼに埋没されていた種子から数十年前の貴重な植生を再生させました。

その多くの貴重植物の中でも象徴的な「除草剤感受性ミズアオイ」が大槌町の豊富な湧水という特別な環境条件の中で生き残っています。このミズアオイについて植物学者・地元保存を進めている方々、大槌の湧水研究者、ビオトープ協会専門家、将来町の宝としての保存運動家(住民)、などが一堂に集まり、改めて町にとっていかに重要な宝であるかをESDの視点を含めて再確認すると共に、後世に残す手立てを導き出すためにビオトープフォーラムとして開催します。

## 10:00▶12:00 エクスカーション

ミズアオイの開花と湧水視察(町方地区・源水川など)

集合場所：大槌町役場前

## 13:00▶開会

## 13:20▶13:40

イベント 伝統芸能：臼澤鹿子踊

## 13:40▶14:40

基調講演 「震災復興と自然の再生・保全による  
魅力あるコミュニティづくり」

神奈川県立産業技術総合研究所副理事長 鈴木 邦雄 氏

## 14:40▶15:20

講演I 「大槌町町方に再生した除草剤  
感受性ミズアオイについて」

岩手県立大学総合政策学部教授(植物学) 平塚 明 氏

## 15:20▶16:00

講演II 「大槌の湧水がもたらす  
生息場とさまざまな役割」

大同大学教授(都市環境デザイン・流域水文学・河川工学)

鷺見 哲也 氏

## 16:00▶17:00

パネル・ディスカッション(ESDの視点から)

「町方地区の自然今昔  
…地域の子供たちにバトンを受け継ぐために…」

コーディネーター

岩手県立大学総合政策学部教授 渋谷 晃太郎 氏

パネリスト

三陸自然学校大槌代表・遠野まごころネット理事長 臼澤 良一 氏

臼澤鹿子踊り保存会会長 東梅 英夫 氏

県立陸中青少年の家所長・元大槌小学校校長 菊池 啓子 氏

## 17:00▶閉会

### お問い合わせ先

#### 岩手県地球温暖化防止活動 推進センター

TEL:019-681-1904

FAX:019-681-1906

E-mail:Kanpai@utopia.ocn.ne.jp

### お申し込み先



ポータルサイト「イワテエコ」  
http://www.iwate-eco.jp  
からお申し込みください。  
当日参加もできます。

イワテエコ

検索



### 講 師 プ ロ フ ィ ー ル



神奈川県立産業技術総合研究所副理事長・前横浜国立大学長  
公益財団法人地球環境研究機関 国際生態学センター長

鈴木 邦雄 氏 [すずき くにお] 宮城県出身



1973年 東北大学理学部生物学科(植物生態学)卒  
2001年 横浜国立大学大学院 環境情報院院長  
2009年 横浜国立大学 学長  
2015年 (公財)神奈川科学技術アカデミー 事業顧問  
日本熱帯生態学会評議員幹事・日本海水学会理事・日本マングローブ学会会長  
日本生態学会関東地区会長・日本農学会評議員・自然環境復元学会会長・環境放射能除染学会評議員・  
日本ユネスコ国内委員会委員(自然科学小委員会委員長・人間と生物圏計画分科会委員長(ユネスコ  
コバーク認証機関))・神奈川県ユニセフ協会会長・(公財)企業家支援財団理事・NPO法人日本ビ  
オトープ協会代表顧問



岩手県立大学総合政策学部教授

平塚 明 氏 [ひらつか あきら] 長野県出身

流域生態系保全論・森林保全論・生態景観と環境管理・フィールド研究



1975年 富山大学 文理学部 理学科 卒  
1979年 東北大学 理学研究科 修了  
2004年 岩手県立大学 総合政策学部 教授  
いわてレッドデータブック改定検討委員会委員・岩手県政策評価委員会(大規模事業評価専門委  
員会)・国営土地改良事業地区 岩手山麓環境配慮検討委員会



大同大学工学部建築学科土木・環境専攻 准教授(工学博士)

鷺見 哲也 氏 [すみ てつや] 岐阜県出身

環境河川工学・水理実験・研究テーマ「川と水」の災害・水生植物・微生物による水質浄化・湧水の保全等



1998年 名古屋大学大学院工学研究科後期博士課程  
2006年 大同工業大学工学部都市環境デザイン助教授  
2009年 大同大学(学名変更)准教授  
大槌町復興まちづくり創造懇談会アドバイザー・国交省中部地方整備局リバーカウンセラー・土  
木学会・水理委員会水文部会委員・水文・水資源学会・学会誌編集委員・東海ネーデルランド高潮・  
洪水地域協議会



岩手県立大学総合政策学部 教授

渋谷 晃太郎 氏 [しばや こうたろう] 神奈川県出身

環境政策論・環境政策・森林環境・環境教育エコツーリズム・自然公園



技術士(環境部門・建設部門)・環境カウンセラー(事業者部門・市民部門)・森林インストラク  
ター・1級ビオトープ計画管理士・中級環境再生医・元環境省レンジャー(日光・戸隠・知床・箱根・  
十和田八幡平・陸中海岸・大山隠岐・山陰海岸・釧路湿原・阿寒国立公園保全管理担当)。  
元環境省自然公園の保全管理、自然とのふれあい推進、環境教育など担当。自然公園法改正・環境  
教育推進法基本方針の策定担当。元林野庁出向、森林行政・森林吸収源対策・カーボンオフセット・  
森林セラピー等



三陸自然学校大槌代表

NPO法人遠野まごころネット 理事長

臼澤 良一 氏 [うすざわ りょういち] 岩手県大槌町出身



311被災・九死に一生を得て、被災者救援の任意団体遠野まごころネット立ち上げ、のちに  
NPO法人・副理事長、現在理事長。三陸自然学校大槌設立。・岩手県環境アドバイザー・岩手県地球  
温暖化防止活動推進員・元釜石市役所環境課長・元岩手県環境審議会委員・釜石ホテルの会



大槌町 臼澤鹿子踊り保存会会長

東梅 英夫 氏 [とうばい てるお] 岩手県大槌町出身



2011年 臼澤鹿子踊り保存会会長  
2012年 大槌町郷土芸能団体連合会副会長  
2013年 大槌鹿子踊りどろのきプロジェクト主催  
元新日鉄釜石製鉄所に在職、2010退職・幼少時から臼澤鹿子踊りに参加



岩手県立陸中海岸青少年の家所長  
元大槌小学校校長(大槌小、安渡小、赤浜小、大槌北小統合)

菊池 啓子 氏 [きくち けいこ] 岩手県大槌町出身



1987年 岩手大学教育学部卒業 陸前高田市立矢作小学校を振り出しに小学校教師としてスタートを切る  
2008年～ 遠野市立小友小学校校長  
2012年～ 大槌町立大槌北小学校校長  
2013年～ 大槌町立大槌小学校校長 大槌町校長会長  
2015年～ 現職  
山田町社会教育委員・大槌町図書館協議会委員・国立岩手山青少年交流の施設運営運営委員、み  
ちのく「体験の風をおこそう」運動推進委員を務める